

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病態と治療Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	一年次		学期及び曜時限	後期 水曜4限 他	教室名	406教室
担 当 教 員	井後 雅之 他	実務経験と その関連資格	錦海リハビリテーション病院に医師として勤務。			
《授業科目における学習内容》						
代表的な脳・神経系疾患について基本的な知識を修得し、それらの病態と治療について理解を深める。言語聴覚士に必要な代表的な脳・神経系疾患の知識を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
【教科書】「病気がみえる 脳・神経」MEDIC MEDIA						
《授業外における学習方法》						
教科書、資料を繰り返し復習し、理解できるようになること。						
《履修に当たっての留意点》						
脳の主な疾患と治療を理解することは、言語聴覚療法の基礎となり重要な科目であるため特に理解しておく必要がある。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の基礎解剖と機能、脳脊髄液の循環、水頭症について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	脳の基礎解剖と機能、脳脊髄液の循環、水頭症			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動路とその障害(錐体路徴候など)について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	運動路とその障害(錐体路徴候など)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経、脊髄神経、自律神経系とその疾患について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	脳神経、脊髄神経、自律神経系とその疾患			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害とその病態について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	脳血管障害(脳梗塞、アテローム血栓症脳梗塞、心原性脳塞栓症、ラクナ梗塞、一過性脳虚血発作など)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害とその病態について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	脳血管障害(脳出血、クモ膜下出血、脳動静脈奇形、もやもや病など)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳腫瘍などの病態について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	脳腫瘍、グリオーマ、髄膜腫、神経鞘腫など		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部外傷の病態について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	頭部外傷(急性頭蓋内血腫、脳挫傷など)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	頭部外傷の病態について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	頭部外傷(慢性硬膜下血腫、びまん性軸索損傷)、てんかんなど)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	ニューロパチー、脱髄性疾患の病態について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	ニューロパチー、脱髄性疾患(ギラン・バレー症候群、多発性硬化症 など)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症の病態について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	感染症(脳炎・髄膜炎、脳膿瘍、プリオン感染症、クロイツフェルト・ヤコブ病 など)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病の病態について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	変性疾患(パーキンソン病)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	変性疾患の病態について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	変性疾患(ALS, 進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、その他の変性疾患)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	認知症(アルツハイマー病、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症 など)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄小脳変性症などの病態について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	小脳の障害と疾患、運動失調(脊髄小脳変性症など)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋疾患の病態について理解でき、説明できる。	教科書	事前に指定した教科書を読んでおく
		各コマにおける授業予定	筋疾患(筋ジストロフィー、重症筋無力症 など)		